

# 市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～

## コスモス文学賞奨励賞を受賞



市内在住の大久保富名さん（豊体）が執筆した「間宮林蔵の生涯を辿る」が、全国公募の第25回コスモス文学賞奨励賞（ノンフィクション部門）を受賞しました。

もともと本が好きで大久保さんは、高校時代に文芸部に在籍して以来、長年趣味で執筆活動が続けてきました。今回のこの作品は、地元出身の偉人、間宮林蔵を女性の視点から書いたものです。60歳を目前に控えた当時、還暦の記念にと、家業の合間をぬってこつこつと書き上げました。その後は発表することなく5年が過ぎましたが、合併して伊奈町がなくなる前にと、応募に踏み切りました。

大久保さんは、「作品は自分としては60%の出来ですが、今回の受賞について家族も喜んでくれ、非常にうれしいです。これからも執筆活動を続けたいと思っています。次は自分の趣味でもある中国史の話を書きたいと思っています。」と、早くも次の作品の執筆に意欲を燃やしています。

受賞おめでとうございます。

## 地域のためにできることを

6月7日、伊奈中学校において、生徒会主催によるボランティア活動が行われました。「地域のために役立つことを」と始めたこの活動は、毎年2回実施しており、今年で4年目となります。今回はクラスごとに分かれ、学校の掃除や通学路のごみ拾い、福祉施設いなりの里での車いす掃除などを実施しました。

生徒たちは、普段自分たちが生活する地域のため、汗を流しながら作業に取り組みました。

「この活動が地域を知る良いきっかけとなってくれば」とは校長先生もこの活動に対して大きな期待を寄せています。

3学期には、今年度第2回目の活動が行われる予定です。



## 「地域福祉」の充実を目指す

特別養護老人ホーム「いなりの里」も開所から6年が経ち、この度「新型ユニット（完全個室）」40床を増築しました。

新設の地域交流スペースを活用した「楽楽サービス」や「日廻り（無料巡回）サービス」を開始し、今後も「地域福祉サービス」の拠点として期待されます。

6月24日の竣工式典には、飯島市長も参列し、祝辞を述べました。



特別養護老人老人ホーム

「いなりの里」新館完成！